

〈三郷学の視点⑦4〉

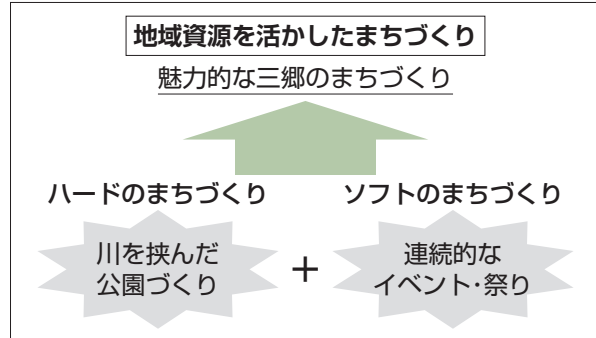
三郷学の実践

59. 地域の資源を活かしたまちづくりの知恵

まちづくりは、ハード、ソフトの両方の取り組みが必要であると言われています。

公園を例にすると、江戸時代に8代将軍・徳川吉宗が桜を植えたのが始まりとされる隅田公園は、隅田川の両岸を約1kmにわたり桜並木が続き、隅田川の屋形船に乗って、兩岸の桜並木を眺めることもできる名所です。隅田川で兩岸に分かれています、むしろ広大な川幅をもつ隅田川が桜の華やかな空間をより大きく広げています。

第二大場川を中央に挟むにおどり公園も、川を公園の一部とみなすことで、公園面積が大きくなり眺望が広が



ります。

また、におどり公園は、多くのイベントや祭りの会場としても利用されています。misato styleではライトアップされた第二大場川は会場の雰囲気を盛り上げました。川に架る「におどり公園橋」の上からの公園の眺望もすばらしいものです。

におどり公園は、第二大場川とイベント・祭りという地域の資源を活かしたまちづくりの好例と言えます。